

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願ひ

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	当院における凍結融解胚移植の治療成績および周産期合併症の検討
研究責任者	鈴木賢哉
研究実施体制	聖隷浜松病院 生殖機能医療科 鈴木賢哉
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2025 年 12 月 31 日
対象者	2020 年 1 月 1 日-2024 年 12 月 31 日の 5 年間で、当院で凍結融解胚移植を行った患者様
研究の意義・目的	ホルモン補充周期での凍結融解胚移植は、移植計画を立てやすいといったメリットはありますが、近年自然周期での凍結融解胚移植と比較して流産リスクの増加や生児獲得率の低下、また周産期リスク(妊娠高血圧症候群、帝王切開率、巨大児、分娩後出血など)が上昇することなどが指摘されています。当院ではいずれも行っているがホルモン補充周期での移植が多く、その治療成績および周産期合併症の発生率は明らかとなっていません。そこで、当院におけるホルモン補充周期と自然周期での凍結融解胚移植の治療成績および周産期合併症について後方視的に調査し、今後の当院での胚移植のプロトコルの改善を目的とします。
研究の方法	【方法】 対象患者について、診療録から以下の項目の調査を行います。 ・患者背景(年齢(採卵時)、妊娠分娩歴、非妊娠時BMI、既往歴、不妊因子、不妊期間、基礎ホルモン値、AMH、男性精液所見、受精方法(IVF/ICSI)、移植胚のGRADE(Gardner分類)、発育段階(分割胚/胚盤胞)、移植胚の日数、SEET法併用の有無、移植時内膜厚/内膜の性状、移植回数、移植時のE2,P4値、妊娠反応陽性時のhcg,E2,P4値、胚移植実施者の経験年数、プロゲステロン製剤の投与方法) ・妊娠成績(生児獲得率、臨床的妊娠率、流産率、多胎妊娠率、異所性妊娠) ・周産期合併症(分娩週数、妊娠高血圧症候群、妊娠高血圧腎症、妊娠糖尿病、前置胎盤、癒着胎盤、帝王切開率、分娩時出血量) ・新生児(出生体重、先天異常、NICU入室率) 【評価・解析方法】 2群間の割合の比較にはPearsonのカイ2乗検定を用いる。共変量の調整のためにLogistic回帰分析を行います。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 生殖医療科 鈴木賢哉 TEL:053-474-2222(代表) 生殖医療科外来 9:00～17:00 平日